



2015-2016 年度

地区補助金事業報告

特定非営利活動法人 河内陽だまり作業所へ エアーコンプレッサー1台、刈払機1台を寄贈する

プロジェクトの概要

広島空港RCでは特定非営利活動法人「河内陽だまり作業所」の活動を知り、支援活動を実施する事を決定した。この法人は、東広島市及びその近郊に居住する障害者に対して、その能力及び適性に応じ、地域の一員として自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、本人による様々な活動の支援に関する事業を実施し、安心して暮らせる地域づくりを行い、地域福祉の増進に寄与することを目的としている。知的障害者31人が在籍し、農作業、自主製品作り、サロンの開催、地域の祭りに参加する、などの活動をしている。

農作業における、耕地面積もだんだんと増え、刈払機が必要になり、また、出荷作業をするにはコンプレッサーで調整しなければ商品にならない状況にあった。機械を導入することで、作業能率があがり、快適かつ安全な作業をすることができる。障害を持っている人も地域の方と同様に、生産活動を行うことが出来るようになり、また、仕事へのやりがいを感じることができ、そのことが入所者の生きがいに繋がる。この点を鑑み当クラブでは、エアーコンプレッサー、刈払機各1台を寄贈し、併せて交流会、障害者自立支援についての勉強会を実施し、生涯自立についての理解を深めることにした。

実 施 報 告

(中国新聞 2015年9月17日掲載記事)

2015年9月16日(水) 特定非営利活動法人 河内陽だまり作業所にて、エアーコンプレッサー1台、刈払機1台を寄贈し、皆さんと交流を深めた。

2015年10月7日(水)の例会にて、河内陽だまり作業所 所長河元利行様を例会に招き「障害者自立支援」について卓話をしていただき、エアーコンプレッサーを使い白ネギの出荷作業がスムーズにできるようになった事などの説明を受けた。

2015.12.3 (水) 収穫された野菜の販売などを行う芋煮会に招待され参加。

尚、クラブ負担分は、10月17日(土)18日(日)に開催された、ほんごう商工まつりにて地元の高校生と共にチャリティバザーを行い、購入資金の一部とした。当日は、ロータリーの看板を掲げ、地域の皆様にロータリー活動の一部も紹介できた。



NPO法人河内陽だまり作業所(東広島市河内町)に16日、広島空港ロータリークラブ(RC、三原市)から草刈り機と圧縮空気を噴き出すコンプレッサー各1台が贈られた。作業所では障害のある利用者が野菜を栽培して市販している。

河内の作業所に草刈り機を贈る

コンプレッサーは白ネギの皮をむくのに使う。同ロータリークラブの鶴田幸彦会長(53)は「非常に助かる。良い白ネギを作りたい」と感謝している。作業所の河元利行所長(67)は「ありがとうございます」と感謝した。たちが实物を届けた。広島空港RC